

# 2007年領土(日本)

〔Ⅱ〕 次の文を読んで、以下の問に答えなさい。それぞれの間で、最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

日本の国土面積はおよそ38万km<sup>2</sup>でしかないが、領海と排他的経済水域を合わせると約447万km<sup>2</sup>にもなるという。排他的経済水域はほぼ海岸線から最大( 1 )海里におよび、この海域では水産資源および鉱物資源などの非生物資源の探査と開発に関する権利を有する。

日本の領土の東西南北端を限る離島はこの点で重要な意味をもつ。日本の北端を限る島はいわゆる北方四島のうちの最大の島で、この島の北端は北緯45°33'に位置する。ただ、<sup>①</sup>実効支配している( 2 )との間で領有権についての妥協点が見いだされていない。日本の東端と南端を限る島々はいずれも1968年に( 3 )から返還されて東京都小笠原村に属している。東端を限る島は東経153°59'にあり、隆起( 4 )の島であり日本で唯一、太平洋プレート上に位置している。一般住民はいないが、気象庁などの施設がありスタッフによって業務が遂行されている。南端を限る島は北緯20°25'に位置するが、幅数十センチの北小島とより小さな東小島に限られ、侵食からの保護措置が実施されている。

本州など日本の主要四島を除いて、列島をなすものの中で最も多くの人口を抱えるのは南西諸島である。その西端の島が日本の西端をなす。この島の西端は<sup>③</sup>東経122°56'に位置する。

日本の排他的経済水域について、前述の北方四島など周辺国との間で未だ確定していない場所がいくつか見られる。南西諸島またはその周辺では、東シナ海とその<sup>たいりくぐん</sup>大陸棚縁辺の諸島である。日本海では隠岐諸島がのる陸棚の延長上にある<sup>④</sup>二つの小島とその周辺の岩礁の領有権を( 5 )半島の2国と争っている。<sup>⑤</sup>

問(A) ( 1 )～( 5 )に入れるのに最も適当な語句を次の語群から選びなさい。

(語群)

- (ア) 12 (イ) 朝鮮 (ウ) 中国 (エ) アメリカ合衆国  
(カ) 200 (ク) 台湾 (キ) 火山 (ク) ロシア連邦  
(ケ) 300 (コ) サング礁

問(B) 下線部①に該当するものは次のいずれか。

- (ア) 色丹島 (イ) 国後島 (ウ) 択捉島

問(C) 下線部②のいずれにも該当しないものは次のいずれか。

- (ア) 沖ノ鳥島 (イ) 沖大東島 (ウ) 南鳥島

問(D) 下線部③に該当するものは次のいずれか。

- (ア) 波照間島 (イ) 喜界島 (ウ) 与那国島

問(E) 下線部④に該当するものは次のいずれか。

- (ア) 先島諸島 (イ) 尖閣諸島 (ウ) 薩南諸島

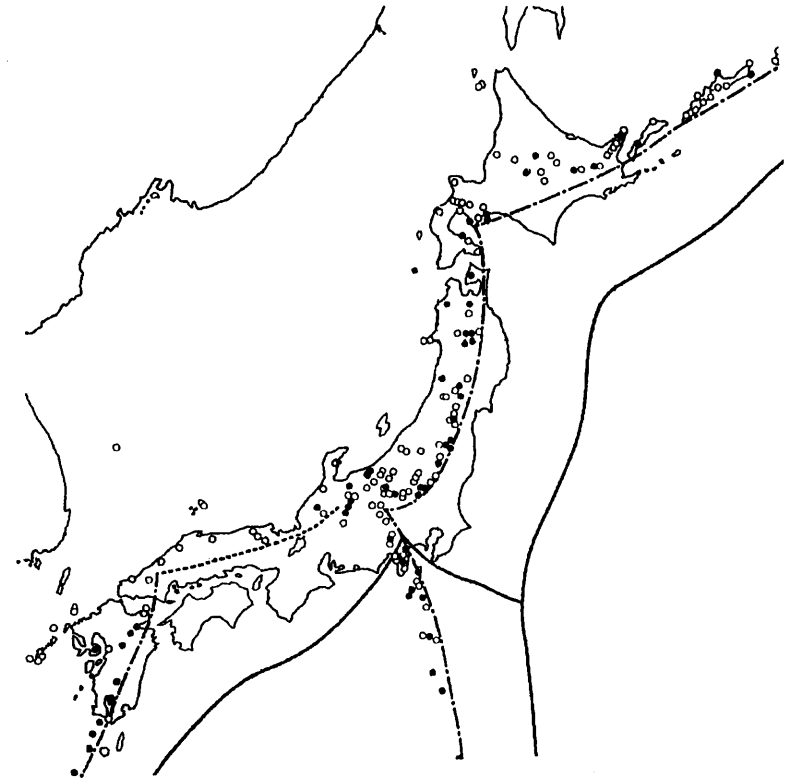
問(F) 下線部⑤に該当するものは次のいずれか。

- (ア) 竹島 (イ) 硫黄島 (ウ) 濟州島

# 2008年日本の地体構造

〔I〕日本の地体構造に関する次の(1)～(10)の間について、最も適当なものを選び、その記号をマークしなさい。なお、次ページの図中の太い実線は海溝またはトラフを、一点鎖線または破線は火山前線を示している。●は新しい火山、○は比較的古い火山を示す。

- (1) 太平洋プレートとフィリピン海プレートの境をなす海溝またはトラフは、次のいずれか。  
 (ア) 日本海溝 (イ) 伊豆・小笠原海溝 (ウ) 南海トラフ
- (2) 東北日本弧と西南日本弧の境界をなすフォッサマグナの西縁を限る大断層は、次のいずれか。  
 (ア) 中央構造線 (イ) 棚倉構造線 (ウ) 糸魚川－静岡構造線
- (3) (2)の構造線の西側に雁行状にならぶ日本アルプスで最も南東よりの山脈は、次のいずれか。  
 (ア) 赤石山脈 (イ) 木曾山脈 (ウ) 飛騨山脈
- (4) 中央構造線沿いの河川に該当しないものは、次のいずれか。  
 (ア) 吉野川 (イ) 紀ノ川 (ウ) 大井川
- (5) 伊豆半島の付け根付近に二つのトラフがくさび状に入り込んでいる。これと関係しない湾は、次のいずれか。  
 (ア) 伊勢湾 (イ) 相模湾 (ウ) 駿河湾
- (6) 北方4島は、火山前線で2区分される。2島(諸島)の組み合わせのうち、どちらにも火山が分布するのは、次のいずれか。  
 (ア) 歯舞諸島・色丹島 (イ) 国後島・択捉島 (ウ) 国後島・色丹島
- (7) 北海道の下記の地域で火山が分布しない地域は、次のいずれか。  
 (ア) 日高山脈 (イ) 渡島半島 (ウ) 知床半島
- (8) 東北地方で火山が分布する地域は、次のいずれか。  
 (ア) 北上高地 (イ) 阿武隈高地 (ウ) 奥羽山脈
- (9) 西南日本弧で内帯と外帯を区分する断層が火山前線と交わるのは、次のいずれか。  
 (ア) 近畿地方 (イ) 四国地方 (ウ) 九州地方
- (10) 下記の火山のうち、中国地方のものは、次のいずれか。  
 (ア) 大山 (イ) 阿蘇山 (ウ) 雲仙岳



2007年 予野

〔I〕 次の文を読んで、以下の問に答えなさい。それぞれの問に関して、最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

河川の堆積作用に関連する地形は、「地形の不連続な部分」(図1に対応)、「成熟した谷のなか」(図2に対応)、「湖や海との境界部」(図3に対応)に現れる。図1にみえる堆積地形は( 1 )で、山地と平地の境界部に位置している。図2には山地に挟まれた平地が続く。この平地部は( 2 )と呼ばれる。図3には海や湖の水域に接して( 3 )が展開している。

図1によって( 1 )の表面形態だけでなく内部構造を知ることができる。山地と低地の境界部にはAの( 4 )が分布している。BはAの( 4 )の地上部分で( 4 )崖をなすが、その位置と形態から三角末端面と呼ばれている。( 4 )を境にして現在の低地側の地下に岩盤がずり落ちており、この岩盤の上には厚い堆積物が見られる。山地中には( 5 )谷が見られる。これは激しい下方侵食によって形成されたもので、狭くて急な河床勾配を持つ。ここを流れ下る濁流は、この( 4 )崖を境に急激に広い空間に解放され、運搬しきれなくなった粗い①をまずは( 6 )部に落とす。

図2の( 2 )には、図の奥(上部)から手前(下部)方向に河川が流れている。その河川とその周辺の低地は河川の側方移動とその( 7 )時の①、②、③の堆積によって形成されたもので、現在形成中のJは( 7 )原と称される。この現在の( 7 )原の山側にはHとG二つの平坦面が認められる。これはかつての( 7 )原で、河岸( 8 )という。

図3の( 3 )上の河道沿いには断面のLに見られるように②質堆積物が分布し、河道間にはより細粒の③質堆積物が分布する。陸域を流れてきた河川は広い水域に入って急激に運搬力を失って②や③を堆積する。浅くて穏やかな水域ほど( 3 )は広く発達する。

図3には、( 3 )より上流側に( 7 )原が分布する。その河道Nの両側には微高地をなす( 9 )とその間の湿地が分布する。なお、河道Nの形態は、図2の河道Kと同様のものである。

図1

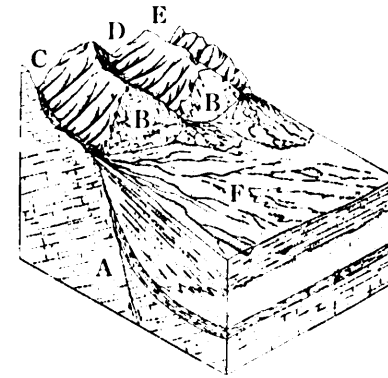


図2

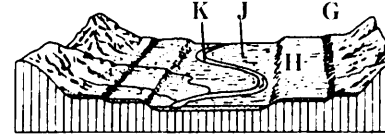


図3

